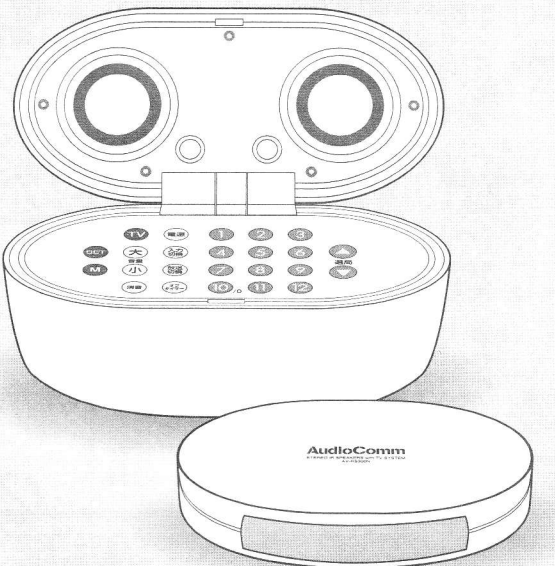
AudioComm®

取扱説明書

スピーカーリモコン

型番:AV-RS300N
品番:07-7902



このたびは、AudioComm®スピーカーリモコンを
お買い上げいただき、
誠にありがとうございました。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。**"この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にご使用ください"** また、お読みになった後も、ご使用時にいつでも見られるよう大切に保存してください。

もくじ

安全上のご注意……2
ご使用になる前に……5
各部の名称……6
電源のオン・オフについて……7
電池の入れかた……7
接続／設置のしかた……8
メーカーコードの設定方法……9
メーカーコード一覧表……10
リモコンの操作方法……12
故障かな？と思ったら……14
主な仕様……15
保証とアフターサービスについて……15
お手入れのしかた……15

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

⚠ 警告

異常の時はコンセントから抜く	●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに本体の電源スイッチを切り、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。
水が入った時はコンセントから抜く	●万一、内部に水などが入った場合は、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
異物が入った時はコンセントから抜く	●万一、内部に異物が入った場合は、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
水かけ禁止	●浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しないでください。火災や感電の危険があります。
分解禁止	●本体を分解、修理、改造しないでください。 火災・感電の原因となります。
コードを交換する	●ACアダプターのコードや接続コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止し、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
接触禁止 感電に注意	●雷が鳴り始めたら、安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。
電池に注意	●本体に使用している乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことがないようにしてください。乾電池は幼児の手の届かないところへ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。
禁止	●この機器を使用できるのは日本国内のみです。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しないでください。 火災の原因となります。
	●表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
	●本体やACアダプター、接続コードの上に重いものをのせたりしないでください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず重いものをのせてしまうことがあります。
	●付属のACアダプターは本製品専用です。本製品をご使用の際には必ず付属のACアダプターをお使いください。また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使用しないでください。 製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。
	●ACアダプターのコードや接続コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

禁止	●調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
	●ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
	●ACアダプターや接続コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	●直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。
	●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
	●濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
	●ACアダプターを抜く時は、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずACアダプターを持って抜いてください。
	●指定以外の乾電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
乾電池の電極性に注意	●乾電池を機器内に挿入する場合、極性表示(プラス+とマイナス−の向き)に注意し、表示通り正しく入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
音量に注意	●ヘッドホンをご使用になる時には音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
コンセントから抜く	●移動させる場合は、必ずACアダプターをコンセントから抜き、外部機器などのコードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
	●旅行などで長時間本機をご使用にならない時は、安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜き、乾電池も取り外してください。火災・液もれの原因となることがあります。
	●お手入れの際には安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

乾電池を安全にお使いいただくために

乾電池の液もれ、発熱、破裂等の事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠ 警告	●火中への投入、加熱、分解をしない ●ショートさせない ●新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池（マンガンとアルカリ）を混ぜて使わない	⚠ 注意	●＋−の表示通りに入れる ●指定以外の乾電池を入れない ●使い切った乾電池はすぐに取り出す ●しばらく使わない時は乾電池を取り外しておく

●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
●万一、もれた液が目に入った時は、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
●使用済みの電池を廃棄するとき、自治体の条例などで決まりがある場合にはそれに従って廃棄してください。

ご使用になる前に

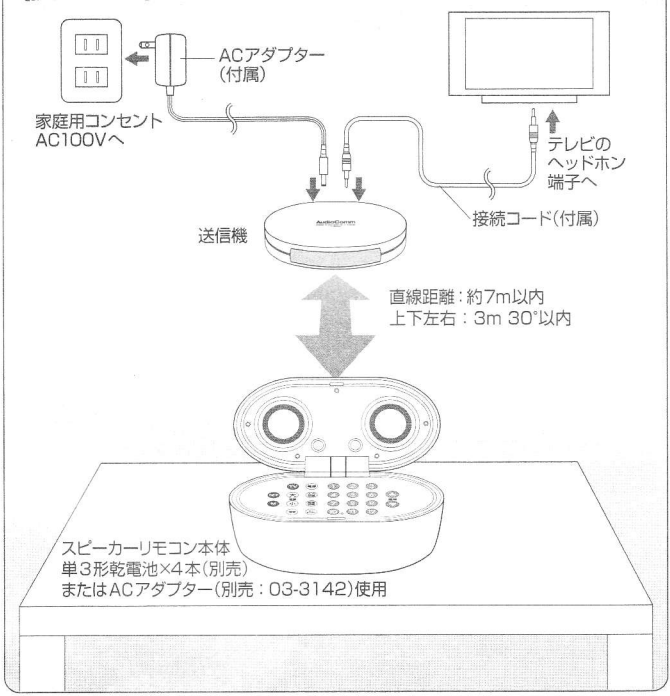
以下の点をご理解の上、ご利用ください。

- ●操作する機器は、赤外線リモコン付きの機器に限ります。
- ●メーカーコード一覧表に掲載した製品でも、操作できない機種や一部機能が操作できない機種があります。
- ●本製品の機能が付属リモコンにない場合は、その機能は使用できません。
- ●機器によっては、リモコンの操作方法が本製品の表記と異なる場合があります。この場合は、各機器に付属しているリモコンの操作方法に準じます。
- ●テレビ機能を搭載した機器であっても、以下の機器には対応しておりません。
  - ・ディスプレイとレシーバーが分離したセパレートタイプのテレビ
  - ・TV 機能搭載パソコン(デジタル・アナログチューナー内蔵を含む)
  - ・車載用テレビ　など

【ワイヤレススピーカーについて】

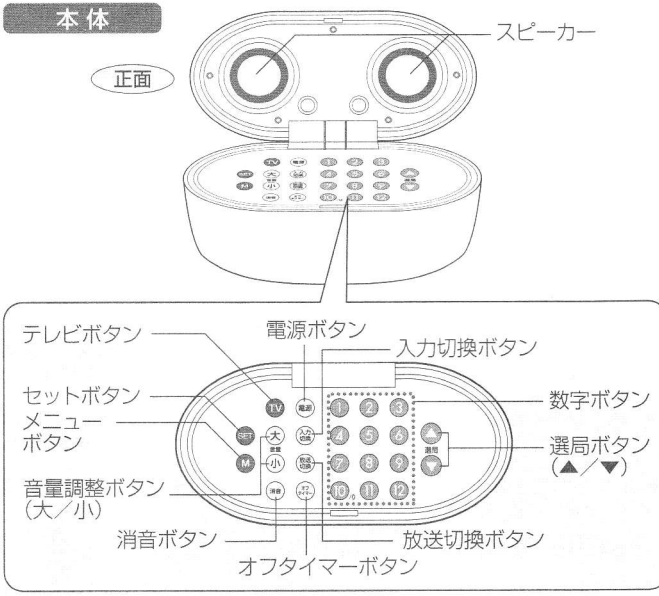
- ●赤外線を使用した他のコードレス機器との併用はできません。
- ●プラズマ方式のテレビやディスプレイと使用した場合、ノイズの影響を受けるため、雑音が発生したり、音が途切れたりする場合があります。また、到達距離が短くなる場合もあります。
- ●本機は赤外線を使用しているため、送信機から離れるに従って雑音が増える場合があります。また、赤外線が遮られると、音声が途切れたり、雑音が発生することがありますので、本体と送信機の間に遮蔽物を置かないでください。
- ●本体受光部を送信機に向けて設置してください。双方の設置位置を試し、なるべく聴こえやすい状況でお使いください。

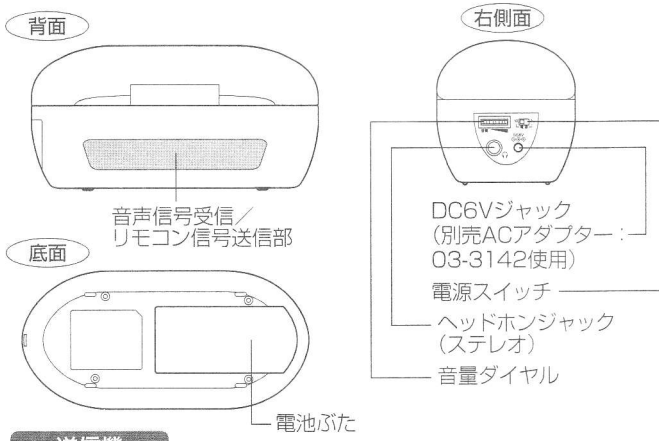
【接続イメージ】 詳細は P.7~P.8 をご覧ください。



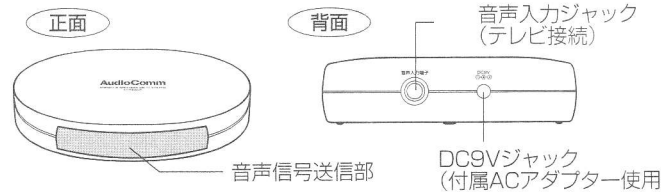
各部の名称

本体


正面
スピーカー
テレビボタン
電源ボタン
入力切換ボタン
セットボタン
メニューボタン
数字ボタン
選局ボタン（▲／▼）
音量調整ボタン（大／小）
消音ボタン
放送切換ボタン
オフタイマーボタン


背面
音声信号受信／リモコン信号送信部
右側面
DC6Vジャック（別売ACアダプター：03-3142使用）
電源スイッチ
ヘッドホンジャック（ステレオ）
音量ダイヤル
底面
電池ぶた

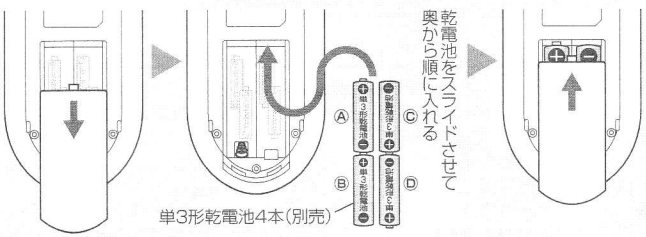
送信機


正面
AudioComm
音声信号送信部
背面
音声入力ジャック（テレビ接続）
DC9Vジャック（付属ACアダプター使用）

電源のオン・オフについて

【本体の電源のオン・オフ】
側面にある電源スイッチで「切」「入」を切換えてください。
※使用していない時は必ず電源を切ってください。
【送信機の電源】
テレビと正しく接続し、ACアダプターをコンセントに差し込んだ状態では、テレビからの音声信号を受けると自動的に電源オンの状態になります。またテレビからの音声信号が1分40秒以上途切れた時は、自動的に電源がオフになります。
※節電のため、長時間使用しない場合は、ACアダプターを家庭用コンセントから抜いてください。

電池の入れかた



1 本体底面にある電池ぶたを矢印の方向に引き、外します。

2 単3形乾電池(別売)4本を+と−の向きに注意しながら上図の通り正しく入れて、電池ぶたを閉めます(コイルバネがあるほうが−側です)。

※本体をACアダプターでご使用時でも、リモコン機能を使用するには単3形乾電池(2本)が必要です。4本のうち、上図ⒶⒷの乾電池をセットしてください。

ヒント 電池交換の目安

ボタンを押しても正常に反応しなくなったり、リモコンの動作距離が短くなった時は、電池の消耗が原因として考えられます。4本とも新しい電池と交換してください。

ご注意 電池についての安全上のご注意

危険

乾電池が液もれした時
液がリモコン内部に残ることがあるため、弊社修理係にご相談ください。液が目に入った時は、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。

警告

- 機器の表示に合わせて+と−を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの多湿な場所で使わない。

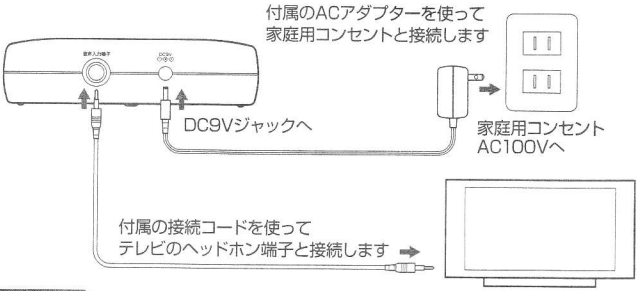
注意

- 使い切った電池は取り外す。長時間使用しない時も取り外す。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。

使用済み電池を廃棄する時
使用済み電池に関して、自治体の条例などで決まりがある場合は、それに従って廃棄してください。

接続／設置のしかた

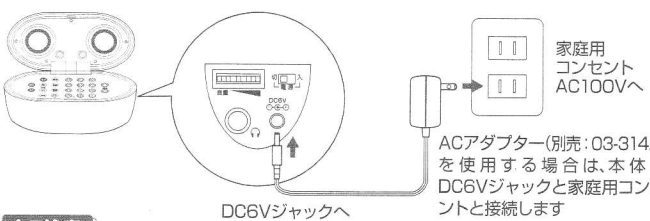
送信機とテレビ・電源の接続



ヒント

- テレビのヘッドホン端子に接続した場合は、テレビを適当な音量にしたうえで、本体の音量ダイヤルでスピーカーからの音量を調節してください。
- テレビのヘッドホン端子に接続した場合は、テレビ側のスピーカーからは音声が出力されなくなります(テレビ、本機の両方から音声を出力したい場合は、テレビの音声出力端子に接続してください)。
- ヘッドホン端子や音声出力端子の形状は、テレビにより異なりますので、お手持ちのテレビの取扱説明書等をご参照の上、各機器に合った接続方法をお試しください(必要に応じて、別途接続コードをお買い求めになるなどしてください)。

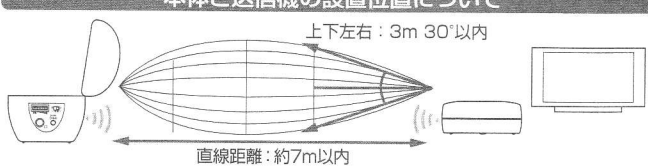
本体と電源の接続



ご注意

- ACアダプターを使う場合でも、リモコン操作用に必ず単3形乾電池2本が必要です。電池の入れかた(P7)を参照して電池を入れてください(ACアダプターをご利用時は、乾電池は2本のみでの使用をおすすめします)。

本体と送信機の設置位置について



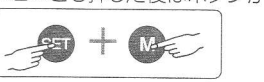
- 本体の音声信号受信／リモコン信号送信部と、送信機の音声信号送信部が向き合うように設置位置を調整してください。
- 本体と送信機の距離は7m以内にし、途中に家具などの遮蔽物を置かないようにしてください。ただし7m以内であってもノイズ等が発生する場合は、位置や向きを再度調整してください。

メーカーコードの設定方法

お手持ちのテレビに応じたメーカーコードを設定することで、リモコン操作が可能になります。使い始める前に、必ずメーカーコードの設定を行ってください。

1 P11～12の「メーカーコード一覧表」を参照して、お手持ちのテレビのメーカーコードを確認する

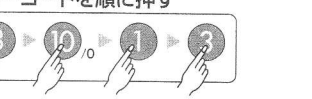
2 セットボタンを押しながら、メニューボタンを押す
※2つとも押した後はボタンから手を離してください



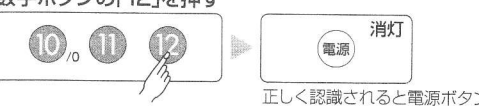
3 テレビボタンを押す
※電源ボタンのLEDが点灯します

4 数字ボタンを使い、4桁のメーカーコードを順に押す
例えば8013と入力する場合は…

「0」の入力は「10／0」のボタンを押します



5 数字ボタンの「12」を押す



正しく認識されると電源ボタンが消灯

6 正しく設定されているか確認する

メーカーコードを設定したテレビの電源を入れた状態で、本体の電源ボタンを押してみてください。正しく設定されていればテレビの電源が切れます。

ヒント

ステップ5で電源ボタンが5回点滅してから消灯したら…

メーカーコード一覧表にない番号を押したり、間違った順番で番号を押した場合、電源ボタンが5回点滅した後に消灯します（設定は無効になります）。もう一度メーカーコードを確認して、ステップ2からやり直してください。

操作の途中で、20秒以上何も押さずに放置すると…

設定操作が解除されます。もう一度ステップ2からやり直してください。

設定操作を中止したい時は…

セットボタンを押してください。電源ボタンのLEDが消灯し、設定操作が解除されます（誤ってセットボタンを押した場合も設定操作が解除されます）。

正しく操作できない時は…

・本体、送信機、テレビ、ACアダプター等の接続や設置場所を確認してください。
・メーカーコード一覧表でもう一度コードを確認してください。複数のメーカーコードがある場合は、他の番号を設定してみてください。

！ご注意 機種により操作できない機能があります

メーカーコード設定を行い、主な機能は操作できるようになっても、メーカー・機種によって、一部機能を操作できない場合があります。

メーカーコード一覧表

地上・BS・110度CSデジタルチューナー内蔵テレビ

ソニー	0132・0133・0148～0150
パナソニック(松下)	0127～0129
東芝	0118～0123・0145
日立	0124～0128・0146・0147
三菱	0130・0131
ビクター(JVC)	0137・0138
シャープ	0115～0117・0144
サンヨー	0111～0114・0128
パイオニア	0134～0136・0151
フナイ/DX	0140
エプソン	0152
ナナオ	0153～0155
LG電子	0139
ユニデン	0141
byd:sign	0142
Mr Max	0157

アナログテレビ (アナログBSチューナー内蔵のテレビ・ビデオを含む)

ソニー	0024～0026
パナソニック(松下)	0015～0017
東芝	0008・0009
日立	0010～0014
三菱	0011・0017～0020
ビクター(JVC)	0028～0030
シャープ	0005～0007
サンヨー	0001～0004
アイワ	0021～0023
パイオニア	0027
フナイ／DX	0039～0042
NEC	0031～0034
富士通	0035～0038
エプソン	0061
ナナオ	0143
フィリップス	0050・0051
DAEWOO	0047～0049
LG電子	0012・0043・0044
サムスン(SAMSUNG)	0046・0055
ユニデン	0059・0060
オリオン	0045
Quixun	0062
byd:sign	0011
ベスト電器(インターコンプ)	0012・0031・0032・0039・0047・0055・0056
マルマン	0048・0099
コルティナ	0052～0055
AudioComm	0156

ビデオ一体型テレビ・ DVD（・ビデオ）一体型テレビ

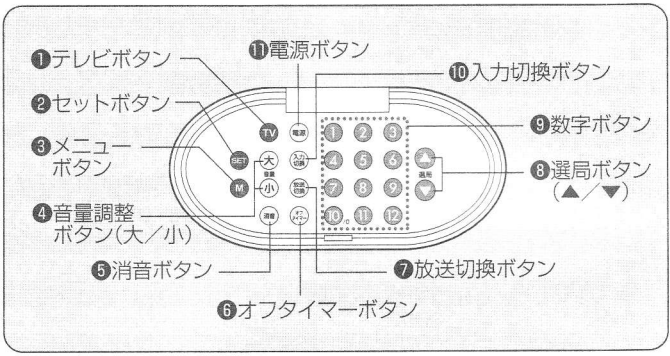
ソニー	0082～0085
パナソニック(松下)	0071～0077・0104～0106
東芝	0066～0068・0102・0103
日立	0069・0070・0073・0074
三菱	0078
ビクター(JVC)	0086
シャープ	0065・0101
サンヨー	0063・0064・0100
アイワ	0079～0081・0095・0096・0107
フナイ／DX	0090～0092・0108
NEC	0087～0089
DAEWOO	0098・0099
LG電子	0093
サムスン(SAMSUNG)	0097
オリオン	0094～0096・0109・0110
ベスト電器(インターコンプ)	0097・0098

メモ メーカーコードを忘れないためにご利用ください。

機器名	日 付	メーカーコード
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	

リモコンの操作方法

基本的な使い方は、お手持ちのテレビに付属しているリモコンと同じです。テレビに付いている取扱説明書もあわせてご確認ください。



❶テレビボタン

メーカーコード設定時に使用します(P9参照)。

❷セットボタン

SETボタンを押しながら、数字ボタンまたは選局ボタン(▲／▼)を押すことで放送を選局できます(次ページ参照)。

❸メニューボタン

メーカーコード設定時に使用します(P9参照)。

❹音量調整ボタン(大／小)

本体スピーカーまたはヘッドホンジャックから出力される音量を調節します。

※テレビの音量レベルや、本体側面にある音量ダイヤルとの組み合わせで音量を調節できます。

❺消音ボタン

音声を消します。

❻オフタイマーボタン

オフタイマーの設定

❼放送切換ボタン

押すたびにデジタル放送で視聴する放送を切換えます。

地上アナログ → 地上デジタル → BSデジタル → CSデジタル → 地上アナログ

❽選局ボタン(▲／▼)

チャンネルを送る／戻す。

❾数字ボタン

チャンネル番号選択

※チャンネル番号入力の場合、「10/0」は0を入力します。

❿入力切換ボタン

テレビの入力を切換えます(P14参照)。

⓫電源ボタン

テレビの電源のオン・オフ

ご注意 メーカーや機種ごとでボタンの機能や名前が異なります

- お手持ちのテレビの機種によっては、ボタンの機能が異っていたり、名前が違う場合があります。
- 本機にボタンがあっても、お手持ちのテレビのリモコンに該当するボタンがない場合には操作できません。
- メーカーコード一覧表内にあるメーカー・機種でも、操作できない機種や一部機能を操作できない場合があります。

セットボタンを使った選局方法

セットボタンを押しながら数字ボタンを押すことで、以下のようなチャンネル選局ができます。

例／地上デジタル・BSデジタル・CSデジタルの場合

→登録チャンネルを選べます。
※数字ボタンを単独で押した場合も登録チャンネルを選べます。

例／アナログBSチューナー内蔵テレビの場合

→アナログBS放送を選べます。

SET + 5	BS5チャンネル(WOWOW)
SET + 7	BS7チャンネル(衛星第1)
SET + 11	BS11チャンネル(衛星第2)

テレビの入力切換について

入力切換ボタンを押すたびにテレビの入力が切り換わりますが、入力切換ボタンを押しながら数字ボタンを押すことで、直接切換えることもできます。

入力切換	以下を順に送ります
入力切換 + 1	ビデオ1
入力切換 + 2	ビデオ2
入力切換 + 3	ビデオ3
入力切換 + 4	ビデオ4
入力切換 + 5	コンポーネント入力切換
入力切換 + 6	AVマルチ入力切換
入力切換 + 7	コンポーネント1
入力切換 + 8	コンポーネント2
入力切換 + 9	コンポーネント3
入力切換 + 10/0	テレビチューナー

上記は一例です。切換可能な入力はテレビの機種によって異なりますので、お手持ちのテレビの取扱説明書でご確認ください。

故障かな？と思ったら

症　状	対処法
本機でテレビを操作できない	・乾電池は正しく入れてありますか。 ・乾電池が消耗していませんか。 ・テレビの主電源は入っていますか。 ・本体の電源スイッチは[入]になっていますか。 ・送信機は正しくテレビと接続されていますか。 ・メーカーコードを設定しましたか? ・テレビから離れすぎていませんか。またはテレビとの間に障害物がありませんか。
メーカーコードを設定しても操作できない	・メーカーコードを正しく設定しましたか。複数のメーカーコードがある場合は、「メーカーコード一覧表」にある別の番号でも試してみてください。 ・操作中に誤ってボタンを押したために、別のメーカーコードに変わってしまっている可能性があります。もう一度メーカーコード設定をしてみてください。 ・メーカーコード一覧表にあるテレビでも、年代・機種により一部操作できない機器があります。
機器に近づかないと動作しない	・電池が消耗している可能性があります。早めに新しい電池と交換してください。
一部の機能が操作できない	・正しくメーカーコード設定をしましたか。一部の機能だけが操作できない場合、別のメーカーコードを設定し直すことで操作できるようになることがあります。
スピーカーの音がひずむ	・乾電池が消耗していませんか。 ・テレビ側の音量設定が大きすぎるとスピーカーからの音がひずむ場合があります。テレビ側の音量を調節してみてください。
スピーカーの音が小さい・出ない	・本体の電源が入っていますか。 ・本体の音量調整ボタンまたはスピーカーの音量ダイヤルが最小になっていませんか。 ・ACアダプターや接続コードは正しく接続されていますか。 ・テレビ側の音量設定が最小(または消音)になっていませんか。
雑音が多い	・本体と送信機が離れすぎていませんか。 ・直射日光が当たる場所で使用していませんか。場所を移動するかカーテン等を閉め、直射日光を避けてください。 ・乾電池が消耗していませんか。 ・複数の送信機を同時に使っていませんか。混信を避けるために、他の送信機の電源を切るか、赤外線が届かない場所に移動させてください。

主な仕様

本体	電源	DC6V　単3形乾電池×4本(別売)
		ACアダプター(別売：弊社品番03-3142)
	動作距離	約7m(環境・条件により異なります)
	出力	1.5W + 1.5W
	電池持続時間	約12時間
	外形寸法	幅146×奥行70×高さ73　単位／mm
	質量	約187.7g(乾電池含まず)

送信機	電源	DC9V 専用アダプター(付属)
	動作距離	約7m(環境・条件により異なります)
	外形寸法	幅110×奥行70×高さ29　単位／mm
	質量	約56.7g

付属品	送信機用ACアダプター・音声入力用接続コード・取扱説明書(保証書)

※本製品の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。また本取扱説明書で使用する図版は、実際の機種と一部外観が異なっている場合があります。

保証とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理係にご相談ください。
●保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
●保証期間が過ぎた場合は
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理係にご相談ください。

お手入れのしかた

本機に付いた汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい時は、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、
アルコールなどは使用しない

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは **お客様相談室** へ

●フリーダイヤル（無料）	●携帯電話・公衆電話からは
0120-963-006	**048-992-2735**
電話受付	平日 9：00～17：30　土曜 9：00～17：00 日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は **修理ご相談センター**へ

電話受付	**048-992-3970** 平日 9：00～17：00 土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-7902A

スピーカーリモコン
AV-RS300N
ご使用についてのお知らせ

今日のテレビは、ブラウン管テレビの他、液晶、プラズマなどいろいろな種類があり、ヘッドホン端子からの音声出力もそれぞれ異なる設計になっています。そのため、本機をご使用の際、音が小さかったり途中で電源が切れてしまうことがあります。

このような時は、テレビの音量を上げてご使用ください。ただし、使用後はテレビの音量が上がっている状態にあります。本機を取り外す時は、必ずテレビの音量を下げてから接続を外してください。

また、テレビの中には、「テレビ音量」と「ヘッドホン音量」が独立しているものがあります。ご使用になられているテレビをご確認のうえ、それぞれが独立しているテレビをお使いの場合は、「ヘッドホン音量」を上げてご使用ください。この時は、ご使用後に「ヘッドホン音量」を下げる必要はありません。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

保証書

持込修理 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
   (ロ) お買上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
   (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
   (ニ) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   (ホ) 本書のご提示がない場合
   (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合 (但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
   (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   (チ) 一般家庭用以外 (例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	スピーカーリモコン			★お買上げ日：　　年　　月　　日
型番	AV-RS300N	品番	07-7902	保証期間：本体1年間 (お買上げの日から)

お客様	★お名前　　様 ★ご住所 〒　　ー 電話　　( )

修理メモ

販売店	★住所　店名　電話 印

(注) ★印欄に記入の無い場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者 (保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは **お客様相談室** へ
●フリーダイヤル (無料) 0120-963-006　●携帯電話・公衆電話からは 048-992-2735
電話受付　平日 9：00～17：30　土曜 9：00～17：00
日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は **修理ご相談センター** へ
電話受付　048-992-3970 平日 9：00～17：00
土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-7902A